

令和6年(2024年)度年間授業計画表						
学年	3 年	学科	全学科	必選	選択	
教科	農業	科目	造園植栽	単位	2 単位	
使用教材	「造園植栽」(文部科学省)					
学習目標	① 造園植栽について体系的・系統的に理解するとともに、関連する技術を身に付ける。 ② 造園植栽に関する課題を発見し、農業や農業関連産業に携わる者として合理的かつ創造的に解決する力を養う。 ③ 目的・環境に応じた合理的な植栽となるよう自ら学び、農業の振興や社会貢献に主体的かつ協働的に取り組む態度を養う。					
単元と内容						
1 学期	第1章 造園植栽の意義と役割 ・造園植栽の特色と役割 ・「造園植栽」とプロジェクト学習 第2章 造園植栽計画 ・植栽のデザインに向けて ・植栽の具体的デザイン		・造園の役割と意義について学ぶ。			
			・造園植栽の特色と現状の課題を学ぶ。			
			・造園植栽のプロジェクト学習の進め方を学ぶ。			
2 学期	第3章 造園植栽施工 ・造園植栽施工の組み立て ・草花類の植栽 第4章 造園植栽管理 ・植栽管理の基本 ・樹木の管理 第6章 造園植栽の実践活動 ・身近な造園空間の植栽管理		・造園植栽施工計画について学ぶ。			
			・草花植栽の基本と整備方法について学ぶ。			
			・樹木の適正な管理技術について学ぶ。			
			・校地内における樹木等の植栽管理法を学ぶ。			
3 学期	第5章 造園植物 ・造園植物の基本 ・造園植物の繁殖と育成		・造園植物の種類、名称を学ぶ。			
			・造園植物の繁殖方法について学ぶ。			
評 価						
評価の観点		評価の趣旨				
I	知識・技能	造園植栽について体系的・系統的に理解し、関連する技術が身に付いている。				
II	思考・判断・表現	造園植栽に関する課題を発見し、農業や農業関連産業に携わる者として合理的かつ創造的に解決する力が身に付いている。				
III	主体的に学習に取り組む態度	造園植栽を科学的に捉えるよう自ら学び、農業の振興や社会貢献に主体的かつ協働的に取り組む態度が身に付いている。				
評価方法	観点Ⅰ		観点Ⅱ		観点Ⅲ	年間時数
	定期テスト 実習 (道具の使い方、作業の仕上り)		定期テスト 提出物 実習(道具の使い方、作業の仕上り)		授業の取組 (態度、出席状況、協働性) 定期テストの復習	予定
						70 時間
						実施
置賜農業 育てる能力		①健康 ②自己肯定感 ③忍耐力 ④主体性 ⑤生命 ⑥他者理解 ⑦協調性 ⑧誠実 ⑨生きる力 ⑩知識技能 ⑪地域づくり ⑫実践奉仕 ⑬社会貢献				